

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 6 月 15 日 (2017.6.15)

【公開番号】特開 2014-217839 (P2014-217839A)

【公開日】平成 26 年 11 月 20 日 (2014.11.20)

【年通号数】公開・登録公報 2014-064

【出願番号】特願 2014-92188 (P2014-92188)

【国際特許分類】

B 0 1 J 23/88 (2006.01)

B 0 1 J 37/20 (2006.01)

C 0 7 C 5/10 (2006.01)

C 0 7 C 13/18 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 23/88 M

B 0 1 J 37/20

C 0 7 C 5/10

C 0 7 C 13/18

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 24 日 (2017.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

活性における増大は、不十分にしか説明されていなくてもあるけれども、水素化処理および水素化分解の触媒の調製の間には有機分子を用いることの興味は、もはや実証される必要はなく、しかし、このような調製は、依然として、工程の数および含浸させられる有機分子が通常用いられる水溶液に不溶であることによって制限されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

本出願人は、それ故に、特定の調製様式に従って、Mo をベースとする少なくとも 1 種の単核性前駆体から調製された担持型触媒であって、該単核性前駆体は、そのモノマー性またはダイマー性の形態にあり、少なくとも 1 個の $\text{Mo}=\text{O}$ または $\text{Mo}-\text{OR}$ 結合または少なくとも 1 個の $\text{Mo}=\text{S}$ または $\text{Mo}-\text{SR}$ 結合を有し、ここで、 $\text{R}=\text{C}_x\text{H}_y$ (式中、 $x \geq 1$ および $(x-1)y \geq (2x+1)$ である) であるか、または、 $\text{R}=\text{Si}(\text{OR}')_3$ または $\text{R}=\text{Si}(\text{R}')_3$ (式中、 $\text{R}'=\text{C}_x\text{H}_y$ であり、ここで、 $x \geq 1$ および $(x'-1)y' \geq (2x'+1)$ である) である、触媒は、ポリオキソ金属酸塩等の標準的な前駆体から調製された触媒と比較して改善された硫化および改善された触媒活性を呈することを実証し、前記触媒は、有利には、予備硫化され、次いで、水素化処理または水素化分解の方法において用いられるものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

好ましくは、前記触媒は、全触媒重量に対して、4～30重量%の範囲の含有率のモリブデンと、0.1～8重量%の範囲の含有率の第VIII族からの単数種または複数種の金属とを含む。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0072】

好ましくは、前記担体は、少なくとも1種の酸化アルミニウムまたは少なくとも1種の酸化ケイ素を含む。有利には、前記担体は、酸性であってもなかつてもよい。有利には、前記担体は、メソ構造化させられていてもさせられていなくてもよい。